

さまざまなproblemに多角的に対応する力量を

病気だけでなく人を診る、といわれて久しいですが、まさにいま、医療人には専門とする病気の診断、治療はもちろん、患者さんが併せ持っている病気、社会的背景など、多様な問題に幅広く対応できる能力が求められています。

後期研修では、各専門分野の基礎から、現在必要とされている医療水準に至るまで、経験、習得し、認定医、専門医資格の取得を目指します。一人一人の希望に合わせた研修プログラムで、患者さんの持つ様々なproblemに多角的に対応する力量を身に着けます。

後期研修委員長 川名 智之

後期研修目標

- 1 総合性を自らの専門として高い力量を持つ総合医、総合的基礎力を備えた専門医を目指す
- 2 SDH(健康の社会的決定要因)の視点を持ち、HPH活動(疾病予防・健康教育・ヘルスプロモーション)に取り組む地域で、患者中心の医療、プライマリ・ケアを実践できる基本的な診療能力を身につける
- 3 差別のない平等の医療、患者の自己決定権を尊重する共同の医療の実践
チーム医療の一員として、リーダーとしての素養を身に付ける
- 4 後輩、医学生等へ
教育指導を行う
- 5 社会保障の充実・平和と人権について
意識・行動できる医師になる
- 6 自己管理能力を身につけ、
ワークライフバランスのとれた医師になる

連携プログラム

領域	基幹施設
リハビリテーション科	千葉大学医学部附属病院 千葉県千葉リハビリテーションセンター
外科	船橋市立医療センター 東京大学医学部附属病院
麻酔科	船橋市立医療センター 国立病院機構災害医療センター
小児科	船橋市立医療センター
産婦人科	千葉大学医学部附属病院 東京女子医科大学八千代医療センター
病理科	千葉大学医学部附属病院

募集要項

募集人数	内科:3名、総合診療:船橋二和病院・南浜診療所各2名 その他領域:若干名
応募資格	初期臨床研修を修了した医師、または修了見込みの医師
身分	常勤職員、社会保険/年金加入 家族手当/住宅手当/通勤手当あり
給与	専攻医1年目 402,110円 (当直などの手当と賞与は別にあり)
手当等	家族手当、通勤手当、医師手当、当直手当など
その他手当	学会年会費は2学会まで病院負担、学会参加は年2学会まで病院負担 (発表する場合はこれを限度としない)
医賠償保険	病院として加入(個人負担なし、個人の加入を制限するものではありません)

マップ



お問い合わせ

船橋二和病院

〒274-8506 千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL:047-447-9745
<https://www.futawa-hp.jp/index.html>
E-mail:r-satou@min-iren-c.or.jp (担当:佐藤)



南浜診療所

〒273-0004 千葉県船橋市南本町6-5
TEL:047-431-3717
<https://fusanokuni.com/index.html>
E-mail:sumihide501@yahoo.co.jp (担当:松岡)



船橋二和病院 南浜診療所

内科・総合診療専門研修プログラム



千葉県民主医療機関連合会

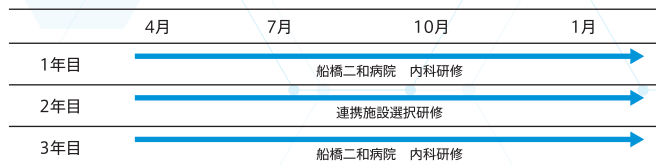
内科専門研修プログラム



成長しよう！
地域医療の担い手として
専門性と総合性追求し

救急、入院～退院、慢性疾患管理、在宅医療までを主治医として受け持ち、継続的な診断と治療を行うことはもちろん、他職種とも協力し、患者さんの社会的背景や家庭でのQOLも考慮した総合的な医療、地域包括ケアの実践を心がけています。プライマリ・ケアを経験できる研修を、後期研修の当初から導入しており、内科医として総合的な力量を発揮できる場として重視してきました。ぜひ体験して医師としての経験値を上げていただきたいと思います。内科専攻医として豊富な症例を経験し、知識・技術の向上に取り組みながら、一方で地域医療の担い手としてのプライマリ・ケア能力を身につけられるよう、医師をはじめ、看護師・コメディカル等職員みんなで内科専攻医の成長をサポートします。

研修スケジュール(案)



連携施設

汐田総合病院、千葉県済生会習志野病院、船橋市立医療センター、千葉大学医学部附属病院、東葛病院

特別連携施設

千葉健生病院、船橋二和病院附属ふたわ診療所、城南病院

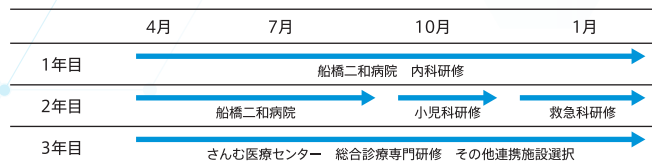
総合診療専門研修プログラム



千葉県内3年間で
病院的総合医という選択

当院のプログラムの特徴は、3年構成のプログラムであること、また、千葉県内で全ての研修を修了することが可能なプログラムだということです。千葉県内のそれぞれの特徴を持つ医療圏にまたがり、地域の中核病院を中心に研修します。各施設とも地域に根ざす第一線の医療機関であり、急性期やコンディジーズの診療はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者さまの診療も行っています。主治医として、入院から退院、その後の外来通院から在宅医療まで継続的な診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者さまの全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践しており、へき地医療ではさんむ医療センターと連携をとっています。「安心して住み続けられる街づくり」を方針に掲げ、地域の健康増進や保健予防活動に積極的に取り組むとともに、差額室料を取らず、無料低額診療も行っています。

研修スケジュール(案)



連携施設

さんむ医療センター、東葛病院、船橋市立医療センター、千葉健生病院、亀田ファミリークリニック館山、千葉大学医学部附属病院、南浜診療所、北部診療所、市川市民診療所、六ヶ所村地域家庭医療センター

総合診療家庭医

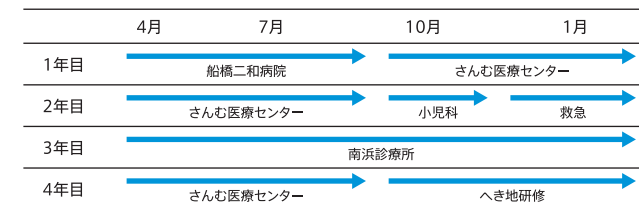


二刀流家庭医
西洋医学と東洋医学の

患者の「病い」に耳を傾け、向き合っていくための一つの方法として「東洋医学」を積極的に活用しています。「患者中心の医療」を実践しつつ「東洋医学」を活用していくためには、「病い」の体験の追及だけではなく、「疾患」の体験の方も探りつつ対応していく必要があります。具体的には、症状を取ろうとする一方できちんと原因の追及をすること、NBMに加えてEBMも考慮していくことが大切です。

私たちは、このようなスタイルの家庭医を「二刀流」家庭医と名付け、同様なスタイル家庭医を育成すべく「東洋医学」のトレーニングに重点を置いた特徴ある研修プログラムを作ってきました。

研修スケジュール(案)



連携施設

船橋二和病院、市川市民診療所、亀田ファミリークリニック館山、千葉大学医学部附属病院総合診療科、六ヶ所村地域家庭医療センター、さんむ医療センター、船橋市立医療センター、東京医科歯科大学医学部附属病院、五島中央病院

Transitional・Year研修 TY研修とは…

研修医の希望やキャリアプランに寄り添った研修を行うことができます。

3年目に必ずしも専門とする領域を決めず、さらに深めたい領域や総合的な力量を身につけることを目的とした病院内独自研修の事。「将来の専門科に進む前に、もう少しいろいろな科で研修してから、専門を決めたい」そんな研修医の思いに応えます！